

地域で連携して患者さんを診る

心不全は、継続的な医療が必要です。心不全の症状は大きく変化して、状態や時期によって必要な医療・ケアが異なります。このため、近隣の医療機関や施設が協力し合って、病状に応じた質の高い医療・ケアを提供します。

急性期



救急医療や集中治療、専門的治療をおこないます。

回復期



日常生活への復帰に向けた治療やリハビリテーションをおこないます。

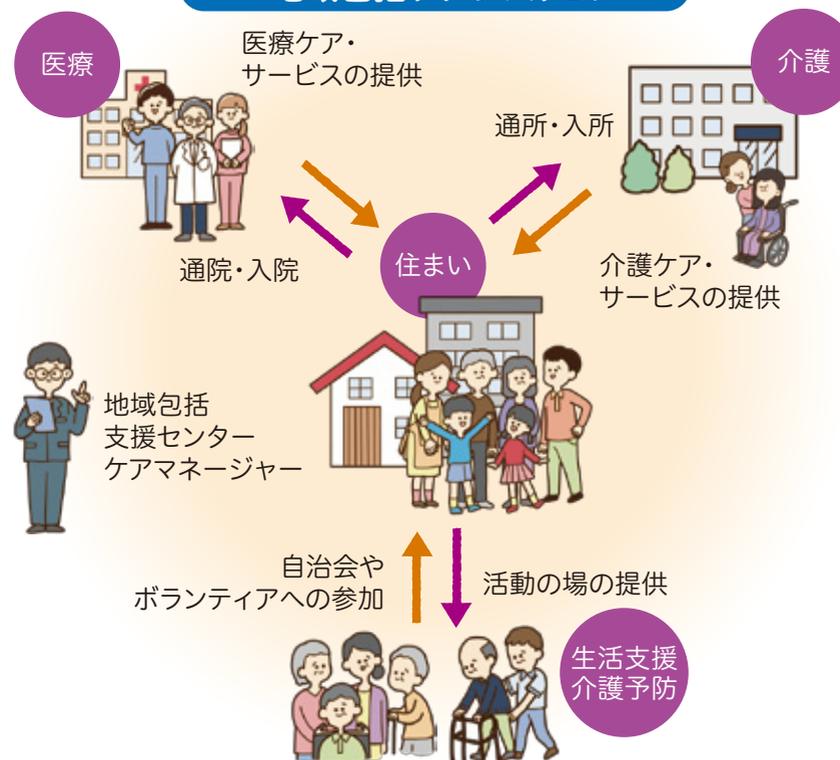
維持期



慢性期の治療、管理、療養などをおこないます。

あなたがついろいろな病気の状態をよく知るかかりつけ医をもちましょう。かかりつけ医をもつことで、病状に応じた早めの対応がとれて、的確に専門医を紹介することができます。

地域包括ケアシステム



住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体となった地域包括ケアシステムの整備が進められています。

医療スタッフ連携ノート

年月日	記入者 宛先	コメント	確認者
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		

年月日	記入者 宛先	コメント	確認者
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		
	▼		

心不全とは

心不全の悪化を
防ぐために

心不全の治療

心臓リハビリ

日常生活の心がけ

地域連携・
連携ノート

毎日の記録